

令和3年度 第8回高田区地域協議会 次 第

(会 議) 日時：令和3年12月20日(月) 午後6時30分
会場：福祉交流プラザ 第1会議室

- 1 開会

- 2 議題等の確認

- 3 報告
 - (1) 第4回分科会の協議内容について

 - (2) 本町ふれあい館の廃止について

- 4 議題
 - (1) 令和3年度地域協議会の活動計画について

- 5 事務連絡

- 6 閉会

【次回全体会 1月17日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回全体会 2月21日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次回分科会 1月11日(火) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

【次々回分科会 2月 7日(月) 午後6時30分～：福祉交流プラザ】

令和3年度 高田区地域協議会 第一分科会の第四回会議 議事要旨

●開催日時 令和3年（2021年）12月6日（月） 18時40分～19時30分

●参加メンバー（敬称略）

本城、浦壁、小川、高野、小嶋、松倉、村田、富田(文責)、欠席：宮崎

●協議内容

(1) 本日の会議に当たって

- ・富田より、事前にお渡しした資料に基づいて、本日の会議の内容を報告した。
- ・内容は以下の通り。

①活性化のテーマは、「若者の地域参画」に決定した。

②まずは、高田区内において、地域活動を行っている若者より現状を紹介していただき、意見交換をする。

③本日は、地域活動を行っている若者を紹介していただきたい。

(2) 各メンバーからの若者の紹介

- ・A氏 上越市アクティブスポーツ協会代表者（第3期高田区地域協議会メンバー）
旧カウボーイの一角で、ボルタリング等が出来るスポーツジムを運営。
- ・打田亮介氏 キナイヤプロジェクトの代表
高田区の町屋のリノベーションを行っている。
今年の3月、小町でキナイヤプロジェクトの活動報告を行っている。
- ・B氏 キナイヤプロジェクトの副代表
高田世界館の支配人、NPO法人頸城野ドキュメントライブラリー所属
- ・C氏 キナイヤプロジェクトのサポートメンバー
大町4丁目で、町家をリノベートし、古道具屋を経営。
- ・D氏 大町在住で、ヨシダ編み物店の店主
- ・E氏 NPO法人 デイサービスの結縁を経営。仲町にも最近デイサービスを開始。

(3) その他の意見

- ・2名の方から、各人の活動紹介より、まず上越市の「若者の地域参画」についての取組を聞いたらとの発言あり。
街の活性化の取組において、市と方向性が異なっていてはまずいため。
⇒キナイヤプロジェクトは平成30年より、上越市事業の一環として行っているの、方向性は間違っていない。
更に、紹介された人たちは街に対する思いやそれに伴う行動力、リーダー的要素をもっている方ばかりで、上越市と2人3脚で、将来を取り組んで行ける存在。

(4) 今後の活動

- ・第一回目の発表者として打田亮介さんをお願いした。
若者が取り組んでいる活動を知ってもらう。（説明時間として30分程度）
- ・日程等については、12月20日（月）の全体会議にて調整したい。

第2分科会:「高田区における災害時の対応について」
12月6日18:30開催の分科会の協議の要旨

1. 出席委員(五十音順、敬称略)

飯塚(副座長)、杉本(座長)、西山、廣川、澁市(要旨のまとめを担当)

2. 協議要旨

12月6日の分科会では、11月15日の地域協議会で上越市が説明した「令和3年大雪災害対応の検証」について協議した。この説明に関して次のような疑問が提起された。

- ① 市の検証の目的を考慮すると、今冬(2021/22)に備えるためには、市民生活に直接関係がある重要な事柄については、報告書の案を本年7月ころまでに公表し、市民の意見を聴くべきであった¹。報告書を11月に公表しても、その結果を市民が吟味し、次の冬に役立てることは困難である。
- ② 昨冬(2020/21)の豪雪による経験をもとに、城下町である高田区の特徴(町屋の道路は狭く、行き止まりがあること等)を考慮した除雪計画を作成すべきである。
- ③ 市が発表した市の除雪体制を補完するための住民組織による市道の除雪に対する報償制度は複雑で、市民がこれを理解し、有効に利用することには困難を伴う。もっと簡素化し、さらに、説明会等において市民に説明すべきである。
- ④ 昨冬(2020/21)と同じ規模・期間の豪雪が発生して市道が不通になった場合に、現在の市の除雪体制では、不通になってから1~2週間で市道が通行可能になるのか大いに疑問である。仮に、通行可能になる時間がより長く必要であると予測されるのであれば、どの位の時間を要するかを市民にあらかじめ周知すべきである。
- ⑤ 昨冬(2020/21)の、大雪に関連する市からの情報発信は、不十分であった。市民の多くは、市のHPやSNSにアクセスする手段を有していない。市は市民に貸与した防災ラジオをもっと有効に活用すべきである。例えば、豪雪時には防災ラジオでコミュニティーFMの大雪情報を知らせる時間を告知して市民の注意を喚起し、市民への情報伝達を行うことを考えるべきである。
- ⑥ 私たちが考える大雪災害を対象とした防災タイムラインは、1時間単位ではなく、6時間から12時間を単位としたものである。昨冬(2020/21)の経験をもとに、そのような防災タイムラインを策定し、市民に豪雪が発生しそうな状況において警報を発するべきである。
- ⑦ 消雪パイプが敷設された道路や、除雪された大きな道路につながる、除雪されていない狭い市道へ多くの車が無理に入り込み、動けなくなって放置された。これらの車は、市道の除雪の障害となった。このような状況を防ぐために、市は、公安委員会、町内会等と協議して、これらの狭い市道を速やかに通行止めにする事が出来るようにすべきである。

¹ 市は2021年7月に「中間報告」を公表した。そこでは、「課題」と「今後の対応の方向性」が示され、最終的な「対応」は11月公表の最終版に示されている。

本町ふれあい館の廃止について（案）

令和3年12月20日
地域協議会資料
福祉部高齢者支援課

1 廃止の経緯

- 「公の施設の再配置計画（令和3年度～令和12年度）」策定



本町ふれあい館 …建物が老朽化していることから、近接する施設に作品展示と鑑賞コーナーを移転した上で廃止する

【現状】・昭和41年の建築からすでに55年以上経過している
・壁の剥落や雨漏り、漏電に伴う停電など、機能低下・故障が相次いでいる

2 移転先の変更

「雁木通りプラザ（4階 市民サロン）」⇒「福祉交流プラザ（1階 情報・展示コーナー）」

- 令和2年度…本町ふれあい館を廃止し、展示場所を雁木通りプラザ（直江津ふれあい館はレインボーセンター）に移転する方針を決め、関係者に説明
7/14：本町2丁目町内会（管理受託者）へ説明
7/20：展示利用団体への説明文書発出
9/28：高田区地域協議会へ説明
- 令和3年度…移転先を福祉交流プラザに変更とする方針を決め、関係者に説明
9/1：本町2丁目町内会へ説明
9/15-16：展示利用団体へ説明
10-11月：談話室利用団体及び福祉交流プラザの既存利用団体へ説明

3 福祉交流プラザの概要

区分	福祉交流プラザ	(参考) 本町ふれあい館
所在地	寺町2丁目	本町2丁目
施設建築年	昭和56年 ※平成19-20年改修（耐震補強済み）	昭和41年 ※平成9年寄付採納
建物の構造	鉄筋コンクリート造 3階建て	鉄筋コンクリート造 2階建て
延床面積	42㎡（1F 情報・展示コーナー）	44㎡（1F 展示スペース）
開館時間	午前8時30分から午後9時	午前9時から午後6時
休館日	年末年始	年末年始
駐車場	一般駐車場 134台（無料）	なし
年間利用者数	約12万人	約1万人

※展示利用団体の希望に応じて、雁木通りプラザでの展示も検討します。

※談話室利用団体については、移転先として南三世代交流プラザや金谷地区公民館などを紹介しています。